



ニュージーランド 高校正規留学 / 夏の短期プラン

英検 準2級レベルで
参加できる高校留学です



New Zealand Secondary School

憧れの海外高校生活を、今年の夏に実現しよう

外国人クラスメートと一緒に
楽しく過ごす外国生活体験です

日 付		時 間	スケジュール & イベント予定
1	7/19(土)	午前／午後	日本発
2	7/20(日)	午前／午後	オークランド現地集合 出迎えを受けてホームステイ先に移動
3	7/21(月)	午前／午後	担当者による入学ガイダンスを開催 クラス分けのテスト
4 } 12	以降毎日	午前／午後	高校の授業に参加します。留学生には高校の制服のレンタル(有料)が用意されています。担当教師の指示により授業に参加して下さい。状況によりですが、クラブ活動や文化体験活動への参加が可能なことがあります。
14	8/ 1(金)	午前／午後	高校最終日 修了書が授与されます
15	8/ 2(土)	午前／午後	現地解散 オークランド空港へ 日本着
■期間別のプログラムがあります			
3週間プログラム		7/21～8/ 9(日本発7/20-日本着8/10)	
4週間プログラム		7/21～8/16(日本発7/20-日本着8/17)	
5週間プログラム		7/21～8/23(日本発7/20-日本着8/24)	
※記載の日程は予定のプランですので、実際と異なる場合があります。 ※日程、時間、スケジュール&イベント内容は予告無く変更される場合があります。 ※上記の開始日の他に 7月6日、7月13日、7月29日の出発日程に合わせたプランが可能な場合があります。 ※滞在は最長9月6日まで可能です。旅行手配は旅行事業部にお尋ねください。			

学校の時間割(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土・日曜日
1 時間目	美術	観光学	英語 (ESOL)	日本語	音楽	自由行動
2 時間目	英語 (ESOL)	美術	家庭科	理科	英語 (ESOL)	
3 時間目	理科	数学	コミュニケーション	数学	農業	
4 時間目	コミュニケーション	体育	農業	体育	数学	
5 時間目	観光学	日本語	音楽	英語 (ESOL)	—	
※記載の時間割は一例です。実際の時間割とは異なります。 ※時間割は、参加者の英語力と留学先高校の状況によって決定されます。 ※受講時間、曜日の教科内容は予告無く変更される場合があります。 ※クラブ活動、文化体験活動に参加をご希望の方は渡航前にお知らせ下さい。						

学校での授業は午前から午後まで毎日あります。一日4～5クラス学習をして、クラブ活動や課外活動がある場合は参加ができます。週末は学校が休みなのでホストファミリーと一緒に過ごします。日本の高校の夏休みの宿題をしたり、街を散策したり、ショッピングを楽しみましょう。

夏休みを利用して、2週間から5週間までの短期間、ニュージーランド高等学校の正規留学が可能になりました。現地高校の同年齢レベルのクラスに在籍して外国の生徒たちのクラスで楽しい高校生活を送ることができます。参加者が現地の高校教科に対応できれば英語以外に「数学、理科(生物・物理)、社会、音楽、体育」などの本格的な教科の受講が可能になります。本場の先生が英語で教える「海外の高校教育」をダイナミックに体験できるチャンスです。是非ご参加下さい。



各校とも定員制です。
早めにお申し込み下さい

このプログラムは同年代の現地高校生と過ごす機会が多いので英語の習得に役立ちます。一緒にランチを食べたり、通学したり、学生生活をしながら文化交流を満喫できます。

- 留学先校 NZ公立中高等学校
- 研修施設 Tauhara, Kaipara College, 他
- レッスン数 週20～25時間
- クラス人数 15～30名
- 滞在方法 ホームステイ
- 通学方法 徒歩、バス通学
- 国籍比率 ニュージーランド人のための中高等学校です。生徒数は600～1000位。留学生は日本人の他、中国、韓国、マレーシア人など。

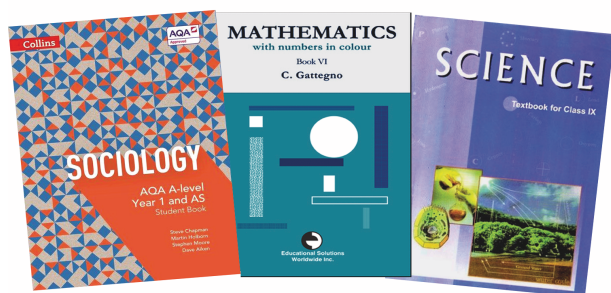
ニュージーランドの高校生活

ニュージーランドの特徴は、人口が、わずか480万人であることです。これは東京都の約3分の1位の人口です。この少ない人口と、酪農、畜産を中心とした産業の歴史がニュージーランドを世界でもまれな美しい国に保ってきました。国の隅々までもが鮮やかな緑におおわれ、都市景観も美しく、イギリスの伝統を受け継ぐ街クライストチャーチ、近代的都市であるオークランドなど、この国を訪れる人々を飽きさせることはありません。親日国家としても知られるこの国は、日本語を正式教科として教える高等学校や大学が数多くあります。日本との貿易も盛んで、自動車などの工業製品を輸入して農産品や木材などを日本に輸出しています。

この「ニュージーランド高校短期留学プラン」は、英語の習得と高校科目の学習体験、さらに文化交流を目的として、ノースアイランド（北島）の小都市で開催され本格的な高校生活を体験しながら国際的な視野を広めることができます。観光やスポーツ活動も盛んな地域なので現地の方々との交流や、エクスカーションに参加する機会もあります。コースの終了時には留学先高校より修了書が授与されます。

英語が上達し受験に役立つ留学です

このプログラムは、日本の中学・高等学校で重視される英語教育での「読む、聞く、書く、話す」4技能を、本場の高校教科を通して「ネイティブの英語」で学べる希少な経験になります。現在までのプログラム参加者は、日本へ帰国後に英語に自信を深め、高校で良好な成績を修めて大学に上位合格した生徒が多いのが特徴です。高校時代を有意義に過ごし、大学に進学する英語の基礎をつくる取り組みのひとつとしてもご利用下さい。



■ホームステイと高校生活を満喫できます

滞在先は、ニュージーランド人の家庭です。受け入れ先は子供の多い大家族、シングルペアレント、リタイアメントされた熟年者の家庭など、ホストファミリーは多彩です。

参加者には個室が用意されます。食事は朝夕食が提供され衣服の洗濯もホストファミリーが行ってくれます。とはいえ他人の家庭で生活するのは困難なこともあるでしょう。

高校への通学はバスや、学校近くに滞在する生徒は徒歩で通学をします。学校から遠方の滞在先では、高校に自動車で送迎してくれる場合もあります。

高校生活は日本と同様で、毎週一回は全体の生徒朝礼があり、校長先生や生徒会長が話をします。日本人の留学生はインターナショナル・クラス担当の先生の支援のもと、英語力と学力に応じたクラスに登録をして学習に励みます。

ハイスクールによりますが「バディ」と呼ばれる現地の生徒がついてくれる高校があります。バディと一緒に過ごすことが多いので、自分の意思を伝えられるレベルの英語力が必要です。バディの数が限られているために、特にこのバディ制度を希望される方は、お申し込み時にお尋ね下さい。

ところで、この国は南半球にあるために季節が日本と逆になります。日本の夏休み期間にあたる7月～8月はニュージーランドの季節は冬です。従ってこのプログラムへの参加者は冬用の衣類を用意して渡航して下さい。寒がりの方は使い捨てカイロやセーターなどを持参すれば役立つでしょう。

プログラム参加者の体験談

公立高校の1年生で参加された
吉本由紀さん

外国に「もうひとつの母校ができた」楽しい夏の思い出です。

中学生の時から憧れていた海外の高校生活。外国のハイスクールの制服を着て学校に通い、隣の席は外国人のクラスメート、そしてネイティブの先生が教える英語での授業…私の望む風景がそこにありました。外国の高校の授業は、先生が与えたテーマについて生徒に自由に発言をさせて、それに対する他の生徒の意見を求める形で進みました。ある日のレベッカ先生の授業で「コカコーラのラベルマークの色はなぜ赤なのか」という課題が出されました。生徒は「赤が目立つから」「青の方がいい」と意見をどんどん言って、多数決で色を選ぶことになり「赤」が多数を占めました。授業の最後に先生が「他製品との差別化によるマーケティングと色の持つ心理学的イメージ、ロゴマークのデザインを考慮してコカコーラ社は赤を選択しました」と、まとめられたのが印象的でした。日本の高校の授業と進め方が違うので初めはとまどう事が多くて大変でしたが、このプログラムに参加したからこそできた多くの事は、私にとって貴重な体験になりました。

